

家族みんなで解いてみよう！ 防災クイズ、いくつ分かるかな？

日本は地震大国といわれ、毎年多くの地震が日本各地で発生し、令和6年8月には南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されました。また、毎年のように大雨や台風による災害に見舞われています。いつ来るか分からない災害への防災対策をクイズ形式で学びましょう。

問い合わせ先 役場地域協働課 ☎963-1734 (直)

Q 非常時の食料備蓄。最低何日分必要？

A 最低3日分！



普段の食品を少し多めに買い置きしておき、古いものから消費し、消費した分を買い足していく「ローリングストック」がおすすめです。古いものから順番に使うことで、備蓄品が常に入れ替わり、わざわざ災害時に特別な備えをする必要がありません。

Q 町のハザード（危険）を知っている？

A 津波、高潮、洪水、土砂災害

新宮町は玄界灘から立花山と起伏豊かな地形です。川のそばなのか、崖の近くなのか、場所によって、災害の危険性が異なります。海岸や河川周辺では津波、高潮、洪水など、また、山側では土砂災害の危険性があります。



自分の住んでいる地域のハザード（危険）を確認してみよう！



新宮町Webマップはこちら▲

Q 避難の方法（種類）を知っている？

A 立ち退き避難、屋内安全確保など

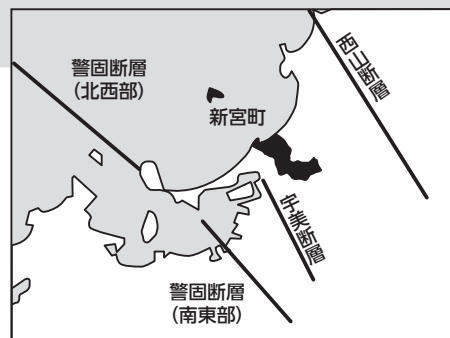
避難の方法は、自宅から避難する「立ち退き避難」（避難所、親族や友人の家、ホテルや旅館に避難など）や自宅の安全な場所に留まる「屋内安全確保」などの避難方法があります。



Q 福岡県が一番危険な断層は？

A 警固断層(南東部)

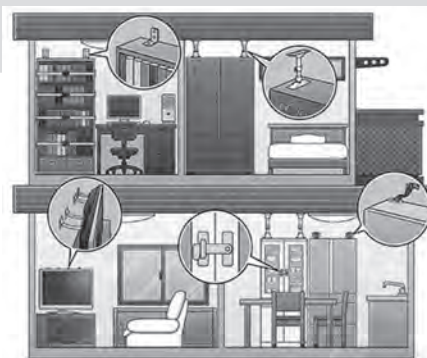
現段階における科学的知見では、警固断層が一番危険といわれています。平成17年3月20日の福岡県西方沖地震では、北西部の断層が震源でした。今後は南東部の断層が震源となる可能性が高く、震源付近では震度6強を記録すると予想されています。



Q 地震から命を守る方法は？

A 耐震化と家具の転倒防止などの措置

地震から命を守るには「崩れない家」に住むことです。昭和56年6月以前に建築確認された家は耐震診断を受け、耐震化に取り組みましょう。耐震基準を満たしていても、家具などの転倒、落下などを防ぐことが大切です。



Q 緊急地震速報が鳴ったらどうしたらいい？

A シェイクアウト！

シェイクアウトとは、安全確保行動のことで「姿勢を低く」「頭を守って」「動かない」という3つの動きを身につけ、地震の揺れから自分の身を守るための行動のことで。

緊急地震速報がでたら安全な場所で身を守る行動が必要です。揺れが来る2秒前に対応できる場合は約25%、5秒前であれば80%の命が助かると言われています。



Q 最新の防災情報を知るには？

A 町公式LINE、
県防災アプリなどを活用しよう！

町公式LINEでは避難所・避難場所、自身が住む地域のハザードの検索ができます。また災害時には情報をリアルタイムでお届けします。県防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」でも多くの防災情報を配信しています。ぜひご登録ください！



▲町公式LINE
友だち追加はこちら



▲県防災アプリ
「まもるくん」はこちら

Q 土砂災害から命を守るには？

A 立ち退き避難！

土砂災害は地震とは違い、準備をする時間があります。災害が起こる前に「立ち退き避難」すれば命は助かります。災害時に「自分は大丈夫」と思い込んでしまう「正常性バイアス」が早期避難の妨げとなります。事前に気象情報や避難情報を入手して早めの避難を心掛けましょう。

「正常性バイアス」

災害時や緊急時に「自分は大丈夫」と思い込んでしまう危険な脳のはたらき

出典：内閣府(防災担当)・消防庁「新たな避難情報に関するポスター・チラシ」
政府広報オンライン
『「緊急地震速報」と「津波警報」等 いざそのとき、身を守るために！』
『今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方』